

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : シャリーヌ R-180S

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 滑剤

使用上の制限 : 一般工業用

会社情報

日信化学工業株式会社

915-0802 日本

福井県越前市北府 2-17-33

TEL 0778-22-5100 - FAX 0778-24-0657

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	分類できない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	分類できない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	分類できない
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入 : 気体)	分類できない
	急性毒性 (吸入 : 蒸気)	区分に該当しない

環境に対する有害性	急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
	水生環境有害性 短期 (急性)	分類できない
	水生環境有害性 長期 (慢性)	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

注意書き

- 安全対策：適切な保護手袋,保護衣,保護眼鏡,保護面を着用すること。(P280)
- 応急措置：気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)
- 保管：換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403+P235)
- 廃棄：内容物/容器を国際,国,都道府県,市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別：化学物質
- 一般名：シリコーン・アクリル系共重合体

名称	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
シリコーン・アクリル系共重合体	> 95	非開示	非開示	非開示
アルキル (C = 10～16) ベンゼンスルホン酸ナトリウム (不純物)	1.1	非開示	非開示	非開示
オクタメチルシクロテトラシロキサ ン (不純物)	< 0.3	(7)-475	既存化学物質	556-67-2
デカメチルシクロペンタシロキサン	< 0.3	(7)-475	既存化学物質	541-02-6

(不純物)				
ドデカメチルシクロヘキサシロキサン (不純物)	< 0.3	(7)-475	既存化学物質	540-97-6

4. 応急措置

応急措置

- 応急措置 一般 : 気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸のし易い姿勢で休息させる。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水で洗うこと。
- 眼に入った場合 : 直ちに大量の水でまぶたの内側を20分以上洗い流すこと。コンタクトレンズを外せる場合は外す。医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中をよくすすぎ、直ちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 強化液、泡消火剤、水、粉末消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 特になし

火災時の特有の危険有害性

- 火災時の特有の危険有害性 : 燃焼により一酸化炭素等を発生する可能性がある。
- 爆発の危険 : 取り扱い中に、引火/爆発性の空気混合ダストを作る可能性がある。
- 火災時の危険有害性分解生成物 : 燃焼時は有害ガス（一酸化炭素、二酸化炭素、アルデヒド類）を発生する。

特有の消火方法

- 特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。
延焼の恐れのないように水スプレーで周囲を冷却する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 適切な保護具を着用し直接接触を避ける。消火作業は風上から行う。
- 消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置 : 保護手袋、保護眼鏡を着用し、掃き取り回収し処理業者に委託処理する。
- 緊急対応者
- 保護具 : 眼、皮膚への接触を防止するため、保護手袋、保護眼鏡等の保護具を着用する。
- 応急処置 : 全ての着火源を速やかに取り除く。
風上から作業する。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 速やかに回収し拡散防止に努める。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : 少量の場合、乾燥砂、土、おがくずなどで覆い、シャベル、箒でかき集め密閉できる容器に回収する。

浄化方法 : 回収後、漏出場所周辺を水で洗浄し、その汚染水も回収する。

二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消化剤を準備する。火花を発生しない安全な用具を使用する。

その他の情報 : こぼれた場所は滑りやすいので注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 静電気対策を講じること。
眼、皮膚への接触を防止するため、保護手袋、保護眼鏡等の保護具を着用する。
防爆型の電気機器・換気装置・照明機器を使用すること。
粉が拡散しないよう局所排気を設けた場所で取り扱うこと。

安全取扱注意事項 : 取り扱い中に、引火/爆発性の空気混合ダストを作る可能性がある。

接触回避 : 眼、皮膚への接触を防止するため、保護手袋、保護眼鏡等の保護具を着用する。

衛生対策 : 作業が終わった時、飲食、トイレ、喫煙前には手を洗う。
作業中は飲食、喫煙はしない。

局所排気・全体換気 : スプレーミストや蒸気を発生する作業の場合は局所排気装置を設置する。

保管

安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。
保管時の温度が5℃以下、又は35℃以上にならないようにする。

安全な容器包装材料 : 紙袋は水濡れ等により強度低下するので濡らさないこと。

技術的対策 : 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
熱・火花・裸火・高温の物のような着火源から遠ざけること。
開封した使用中の包装容器に、ゴミ、水等が入らないようにする。

混触禁止物質 : 熱源。発火源。

8. ばく露防止及び保護措置

シャリーヌ R-180S	
日本 - ばく露限界値	
管理濃度	データなし
許容濃度(産衛学会)	データなし
許容濃度(ACGIH)	データなし

設備対策 : 直接の接触を避けるため、取り扱い場所に局所排気装置を設置する、取り扱い場所の近くには安全シャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明確に表示する。

保護具

呼吸用保護具	: 吸引を避けるため、防塵マスク等を使用
手の保護具	: 保護手袋着用
眼・顔面の保護具	: ゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 保護衣、長袖作業衣、安全靴

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体
外観	: 粉体
色	: 黄白色
臭い	: 無臭
pH	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: 193 °C (類似品データ)
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: 酸素指数 23.6%
蒸気圧	: データなし
相対蒸気密度 (20°C)	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水に溶けない。アセトンに可溶。トルエンに可溶
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
爆発限界 (g/m ³)	: 160 - 170 g/m ³ 爆発限界 下限(LEL)(類似品データ)
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 水との反応性なし
化学的安定性	: 室温では安定
危険有害反応可能性	: 爆発性の空気混合ダストを作る可能性がある。

避けるべき条件	：	火気。静電気
混触危険物質	：	知見なし
危険有害な分解生成物	：	燃焼時は有害ガス（一酸化炭素、二酸化炭素、アルデヒド類）を発生する。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	：	（製品として）	データなし
急性毒性（経皮）	：	（製品として）	データなし
急性毒性（吸入：気体）	：	（製品として）	データなし
急性毒性（吸入：蒸気）	：	（製品として）	データなし
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	：	（製品として）	データなし
急性毒性（吸入：ミスト）	：	（製品として）	データなし
皮膚腐食性／刺激性	：	（製品として）	データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	：	（製品として）	データなし
呼吸器感作性	：	（製品として）	データなし
皮膚感作性	：	（製品として）	データなし
生殖細胞変異原性	：	（製品として）	データなし
発がん性	：	（製品として）	データなし
生殖毒性	：	（製品として）	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	：	（製品として）	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	：	（製品として）	データなし
誤えん有害性	：	（製品として）	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

生態毒性	：	（製品として）	データなし
水生環境有害性 短期（急性）	：	（製品として）	データなし
水生環境有害性 長期（慢性）	：	（製品として）	データなし

残留性・分解性

残留性・分解性	：	（製品として）	データなし
生化学的酸素要求量(BOD)	：	（製品として）	データなし
化学的酸素要求量(COD)	：	（製品として）	データなし

生体蓄積性

生体蓄積性	:	(製品として)	データなし
n-オクタノール/水分分配係数 (Log Pow)	:	(製品として)	データなし

土壤中の移動性

土壤中の移動性	:	(製品として)	データなし
n-オクタノール/水分分配係数 (Log Pow)	:	(製品として)	データなし
生態系 - 土壌	:	(製品として)	データなし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性	:	(製品として)	データなし
その他の有害な影響	:	追加情報なし	

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	:	都道府県知事の許可を得た専門の廃棄処理業者に委託すること。
汚染容器及び包装	:	内容物や包装材料の処理は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄処理業者に委託すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上輸送(IMDG)

国連番号 (IMDG)	:	非該当
正式品名 (IMDG)	:	非該当
容器等級(IMDG)	:	非該当
輸送危険物分類 (IMDG)	:	非該当

航空輸送(IATA)

国連番号 (IATA)	:	非該当
正式品名 (IATA)	:	非該当
容器等級 (IATA)	:	非該当
輸送危険物分類 (IATA)	:	非該当

国内規制

その他の情報	:	輸送に際しては包装に漏れないことを確かめ、破袋、落下、損傷等がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に、"7 取扱い及び保管上の注意"の記載にも注意する。
--------	---	---

15. 適用法令

国内法令

化審法	: 規制されていない
労働安全衛生法	: 【改正後 令和 7 年 4 月 1 日以降】 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 5 7 条の 2 第 1 項、施行令第 1 8 条の 2 第 2 号～第 3 号、安衛則第 3 4 条の 2 別表第 2） ドデシルベンゼンスルホン酸 【改正後 令和 7 年 4 月 1 日以降】 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 5 7 条第 1 項、施行令第 1 8 条第 2 号～第 3 号、安衛則第 3 0 条別表第 2） ドデシルベンゼンスルホン酸 【改正後 令和 8 年 4 月 1 日以降】 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 5 7 条の 2 第 1 項、施行令第 1 8 条の 2 第 2 号～第 3 号、安衛則第 3 4 条の 2 別表第 2） オクタメチルシクロテトラシロキサン
毒物及び劇物取締法	: 規制されていない
消防法	: 指定可燃物、合成樹脂類（法第 9 条の 4、危険物令第 1 条の 1 2・別表第 4）
船舶安全法	: 規制されていない
航空法	: 規制されていない
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	: 第 1 種指定化学物質（法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1） 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（アルキル基の炭素数が 1 0 から 1 4 までのもの及びその混合物に限る。）（管理番号：30）（1.1%）

16. その他の情報

参考文献	: 引用文献 1. 原料メーカーの「安全データシート」 2. GHS 第 6 版 3. N I T E GHS 分類結果。
その他の情報	: 本製品は一般工業向けに開発されたものです。特殊な用途へのご使用に際しては、貴社にて安全性をご確認の上ご使用下さい。本品のご使用またはお取扱いに際しましては、事前に本 SDS により、製品を取扱う全ての人々に対して、本 SDS の情報及びその他の安全・災害に関わる情報の周知徹底をお願いいたします。記載内容は現時点で入手出来る資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、

当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。尚、弊社の営業上の秘密に該当する成分及びその含有量に関する情報については非開示（含有量については範囲表記）と記載している場合がある。